

プロジェクト代表者	谷口高平(トランスレーショナルリサーチ部門・副部門長/一般・消化器外科学・助教)
共同研究課題名	MicroRNAによる、がん病態の解明と核酸創薬への試行
目的	豊富な臨床手術検体を利用し、microRNAの観点から発がん機構の解明を試みる。それらの知見を基に創薬開発とりわけ核酸医薬の実現を目指す。前年度申請課題「バイオバンクを利用したがん病態の解明と核酸創薬への試行」の継続発展研究である。核酸創薬につながる様、病態解析においてもmicroRNAを中心に行う方針へ展開させ、より詳細な知見の産出と創薬開発の実現に向けて研究を継続する。
内容	がんの病態解明では申請者が進めてきた、がんエネルギー代謝調節機構を調節するmicroRNAや臓器特異的microRNAから、消化器がんにおける新規がん遺伝子の同定・機能解析を行う。また既存の抗がん剤の作用をmicroRNAの観点から再解析する。核酸創薬への試行に対しては、岐阜大学で研究を進めている化学修飾microRNA、及び大阪薬科大学で開発された新規Drug Delivery system・化学修飾microRNA シーズを用いて研究を進める。
学内共同研究者	内山和久(一般・消化器外科学・教授)
	猪俣陽介(一般・消化器外科学・大学院生)
	富永 智(一般・消化器外科学・大学院生)
	島 卓史(一般・消化器外科学・大学院生)
学外共同研究者	赤尾幸博(岐阜大学医療情報研究科・教授)
	浦田秀仁(大阪薬科大学・教授)
	和田俊一(大阪薬科大学・准教授)
	林 淳祐(大阪薬科大学・助手)
研究費	1,000,000 円